

# TIA-nanoナノバイオ領域

## Key Words

Nanobiotechnology

## 概要

つくばの技術基盤を結集し、基礎的研究からシーズ育成、実証研究までをシームレスに繋ぐ「ライフイノベーション・インキュベーター」の構築を目指す。



## 重点とすべき領域(検討中)\*

\* 筑波大学、「つくば地域の研究機関等が有する研究ポテンシャルの結集による健康長寿社会の実現を目指した調査研究」我が国の未来を拓く地域の実現に関する調査研究成果報告書、平成27年3月25日 より作成

### ① 「未来創造スマート看護・介護システム」の創出

病院、住宅、食堂を模擬するプラットフォームを形成し、この上で、センサネットワークやバイオデバイスといったICT技術、ロボット技術、ナノバイオ技術等を融合し、病院から在宅までのシームレスな健康管理(日常生活の中で健康をつくり、守るための「在宅病院」)に应用可能な基礎技術・システムの研究開発・実証を行う。

### ② ナノテク細胞標的技術の多様な応用による難治性がんの克服

つくばに所在する量子ビーム技術、ナノテクノロジー技術、バイオテクノロジー技術等を結集し、がん等の疾病細胞を標的として特異的に集積する多様なナノ粒子等を創製し、診断・治療等に应用する。

### ③ これらの研究を進めるのに必要なツール等の基盤技術の研究開発



TIA-nanoナノバイオ領域タスクフォース

座長 国立大学法人 筑波大学 副学長・理事、附属病院長 松村 明